

ESG経営

マテリアリティとKPI

1. 不動テトラの重要課題(マテリアリティ)

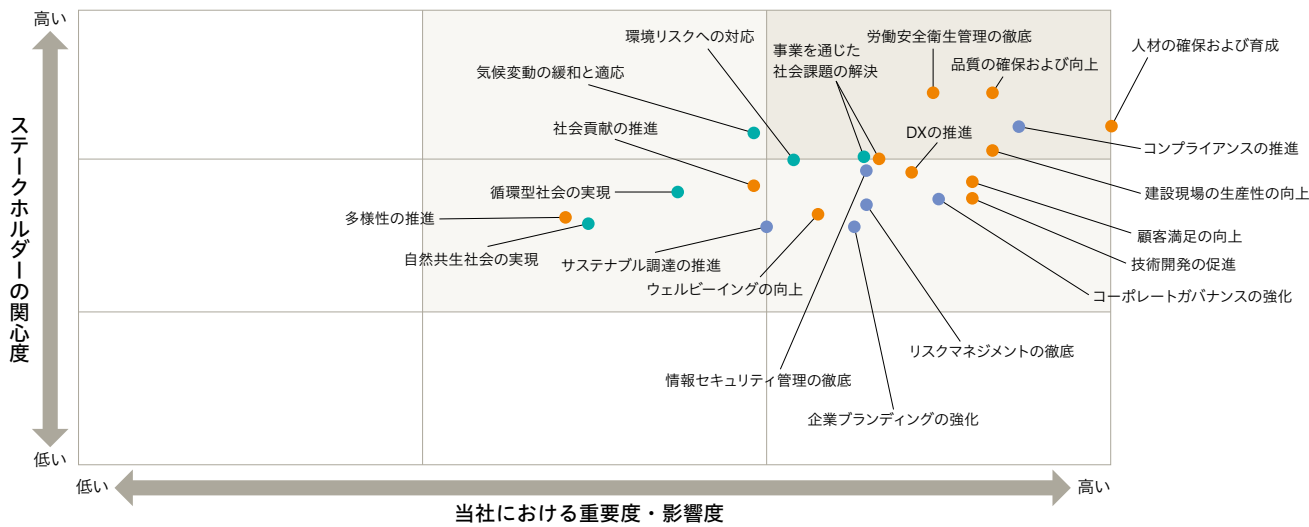
当社では、6つの重要課題を特定しています。重要課題は、課題を達成するための施策とKPIを設定し、進捗状況をチェックしています。必要に応じて、課題の見直しを行っています。

E	S	S	S	G	G
持続可能な社会の実現	安全・安心な国土づくり	地域の発展・活性化への貢献	あらゆる人々の活躍の推進	企業経営の健全性と効率性の向上	倫理的行動の徹底

2. 重要課題(マテリアリティ)の特定プロセス

① 課題の抽出	・ 品質環境委員会で課題を抽出 世界、日本、業界の課題、SDGs、各白書、当社の事業活動、中期経営計画等を参考に、重視する課題を抽出
② 課題の重要度・影響度評価	・ 品質環境委員会委員による「重要課題(マテリアリティ)評価シート(マテリアリティ・マッピング作成シート)」での評価実施 縦軸をステークホルダーの関心度、横軸を当社における重要度・影響度とし、マッピングし、評価
③ 課題の決定	・ ②の素案に基づき、サステナビリティ委員会で事前審議のうえ、取締役会で審議し決定

3. 重要課題(マテリアリティ)の評価



マテリアリティとKPI一覧(単体)

ESG区分	当社が持続的に成長するための6つの重要課題(マテリアリティ)	課題項目	評価指標	年度目標		2025年度結果
				2030年	2020年度比△	
E環境	① 環境 持続可能な社会の実現 ⑦ 気候変動 ⑫ 持続可能な消費 ⑬ 持続可能な生活	気候変動の緩和と適応	CO ₂ 排出量原単位削減率(スコープ1、2)	2030年	2020年度比△ 30%	△36.4%
			CO ₂ 排出量原単位削減率(スコープ3)	2050年	2020年度比△100%	
		循環型社会の実現	[土木]混合廃棄物排出率	2030年	2020年度比△ 10%	△40.5%
		自然共生社会の実現	[ブロック]NETIS掲載の要素技術「港湾構造物の生物共生効果の向上技術」の採用件数	45件/年		77件
		環境リスクへの対応	重大な環境不具合件数	0件		0件
	② 消費者課題 安全・安心な国土づくり ③ コミュニティへの参画及び開発 地域の発展・活性化への貢献	事業を通じた社会課題の解決	[土木]防災・減災関連工事の受注	4件/年		11件
			[土木]リニューアル工事の受注	2件/年		3件
			[土木]環境関連工事の受注	1件/年		2件
			[地盤]環境配慮型、新工法の受注	提案と受注を対前年比増		提案11件 受注2件
			[ブロック]生物共生型港湾構造物の整備における当社環境配慮製品の受注	1件/年		1件
S社会	② 消費者課題 安全・安心な国土づくり ⑨ 持続可能な消費 ⑪ 持続可能な生活	顧客満足度の向上	[土木]工事成績評定	平均80点以上		国土交通省 :81.1% その他 :81.2%
			[地盤]顧客満足度高評価取得率	60%以上		84.5%
			品質の確保および向上	重大な品質不具合件数	0件	0件
			建設現場の生産性の向上	生産性の向上率 ※技術者・技能者 1日(8時間)当たりの施工高	2020年度比プラス 10%以上	30.9%
			DXの推進			
	③ コミュニティへの参画及び開発 地域の発展・活性化への貢献 ⑤ 持続可能な生活 ⑦ 気候変動	社会貢献の推進	特許出願件数	各年度年初に設定		16件
			研究開発費	2024年度からの3年間で15億円		計17.6億円
			社会貢献の推進	社会貢献活動報告件数	11件以上/年	55件
			人材の確保および育成	工事系社員数	2026年度までに土木205人 地盤240人	土木190人 地盤209人
			多様性の推進	・ 女性管理職割合 ・ 女性次世代管理職(リーダー層)候補人数	管理職4%以上 リーダー層の人数1.2倍以上 (2024年度末比)	5.5% 1.0倍 (6人)
	④ 人権・労働慣行 あらゆる人々の活躍の推進 ③ 持続可能な消費 ④ 持続可能な生活 ⑤ 持続可能な生活 ⑥ 持続可能な生活 ⑦ 気候変動 ⑧ 持続可能な消費 ⑨ 持続可能な消費 ⑩ 持続可能な消費 ⑪ 持続可能な生活 ⑫ 持続可能な消費 ⑬ 持続可能な生活 ⑭ 持続可能な消費 ⑮ 持続可能な生活 ⑯ 持続可能な消費 ⑰ 持続可能な生活	多様性の推進	技術系職種的女性社員割合	5%以上		4.4%
			男性育児休業取得率(率)	90%以上		106.7%
			健康経営優良法人評価	前年度評価の維持向上		55.8(×)
			従業員エンゲージメントスコア	前年度評価の維持向上		50.5(×)
			労働安全衛生管理の徹底	死亡災害件数	0件	0件
Gガバナンス	⑤ 企業統治 企業経営の健全性と効率性の向上 ⑧ 持続可能な消費 ⑫ 持続可能な消費 ⑬ 持続可能な生活 ⑭ 持続可能な消費 ⑮ 持続可能な生活 ⑯ 持続可能な消費 ⑰ 持続可能な生活	コーポレートガバナンスの強化	社外取締役の取締役会への出席状況	90%以上		98%
			社外取締役の指名報酬諮問等委員会への出席状況	90%以上		96%
			リスクマネジメントの徹底	安否確認訓練応答率	100%	99%
			大規模災害対策訓練の実施	1回/年		2回
			企業ブランディングの強化	決算説明会の実施	1回/年	1回
	⑥ 公正な事業慣行 倫理的行動の徹底 ⑧ 持続可能な消費 ⑫ 持続可能な消費 ⑬ 持続可能な生活 ⑭ 持続可能な消費 ⑮ 持続可能な生活 ⑯ 持続可能な消費 ⑰ 持続可能な生活	コンプライアンスの推進	個別ミーティングの実施	20人以上		205人
			重大なコンプライアンス違反件数	0件		0件
			コンプライアンス研修実施回数	1回以上/年		1回
			サステナブル調達	サステナブル調達の推進体制の確立	2024年度 サステナブル調達ガイドラインの制定	ガイドライン制定 アンケート実施・分析 (440社)
			情報セキュリティ管理の徹底	情報セキュリティ事故件数	0件	0件
				情報セキュリティ研修実施回数	1回以上/年	1回